

自分の身は自分で守ろう！Part.4

『雪崩からのサバイバル』



スキーや登山を楽しむ人たちにとって、雪山で一番恐ろしい災害が雪崩です。

「雪崩」とは、山に積もった雪がバランスを失い、崩れ落ちる現象のことです。

もし雪崩に巻き込まれたら、雪が乾いている状態で、時速100kmをこえるスピードで雪が崩れ落ちてくるので、スキーやスノーボードで滑って逃げ出すことは、まずできません。



でも、たとえ雪崩に巻き込まれた場合でもあきらめずに、雪の中を泳ぐようなつもりで、

浮き上がる努力を続けましょう。鼻や口に雪がつかまらないように両手で顔をおおい、岩や

樹木などのつかまれるものがあれば、しがみつきましょう。

雪に流されている時は大声を出して、周囲の人に自分の位置を知らせましょう。

しかし、まず雪崩に巻き込まれないように、スキー場ではゲレンデ以外の立入禁止の場所

に入らず、登山の場合も障害物のない広い斜面や、沢すじ、雪が迫り出している場所の

下側には近づかないようにしましょう。

特に春先は、もっとも雪崩がおきやすい季節なので、雨が降った後や急に気温が上がった時は注意しましょう。



急な大雪により、観光道路や林道などでも雪崩がおき、車などが巻き込まれるケースもあります。

道路の危険箇所もできる限り事前に知っておきましょう。